

## 2021 アートマイル国際協働学習プロジェクト 報告書

日本学校名 [ 埼玉県立飯能高等学校 ] 担当教諭名 [ 水谷 元彦 ] ( 3年有志(ゼミ活動) 40名 )


相手国・地域 [ パキスタン ]

海外学校名 [ Mansehra Public School and College ] 担当教諭名 [ Muhammad Umar Gul ]

### ■実施教科・時間数について教えてください。

	教科	単元名	時間数
アートマイルに関連した 実施教科・時間数	総合的な探究の時間	3年ゼミ活動	10
	ホームルーム	ゼミ活動全般に関する説明・まとめ	2
	課外活動	冬休み中及び放課後の課外活動	10

### ■作品に込めた想いについて教えてください。

題 (テーマ)	Water shortage due to climate change (気候変動による水不足)
メッセージ (相手と想いを合わせて 世界に発信したいメッセージ)	気候変動による影響の一つに水質汚濁や水不足があり、水中の生物のみならず、生態系全体、そして人間にも影響を与える。この壁画では水に注目した。中央に水不足で苦しむ魚を描き、砂時計の形は時間が無いことを表している。周囲のバブルは解決策であり、「再生可能エネルギー」「森林保護」「水ATM」等を挙げた。
	

### ■今回の取り組みの成果と課題はどういった点でしょうか？

成 果	課 題
本校は一年後に新校として開校する予定であり、ここでは探究活動を大きな軸のひとつとして学校づくりを進める。その中で今回の取り組みは、探究活動のみならず、国際理解教育や外国語でのコミュニケーション能力の育成などにおいて、大きな先事例となった。	ゼミ活動という、生徒をいくつかのグループに分けて各活動を行うこと自体が本校では初めての取り組みであった。活動時間の確保や情報共有といった、運営面についての反省点が多い。全体のスケジュール管理が甘く、コロナ禍も影響して、完成は大幅に遅れた。コミュニケーション力の面も課題が残った。

### ■アートマイルに取り組む前と比べて相手の国・地域や世界に対して意識はどう変わりましたか？

児童生徒の意識の変化	教師の意識の変化
当初は SDGsという言葉そのものを知らない生徒も多かった。その中で、世界全体の問題として考えなければならないことが多くあることを実感した。インターネット社会において、積極的に調べようとする姿勢は向上した。相手校へのリスペクトを持ち、相手の言語でメッセージを書くといった行動も出てきた。	探究活動に関するノウハウを積み重ねているさなかの本校において、国際交流は決して難しいものではないという実感を得ていくことができた。多くの失敗があり、困難にも見舞われたが、相手校からの理解が得られ、協力が得られた。相手を尊重し、その上で新しいことに挑戦し続けることの大切さを学んだ。

■主な活動の流れを教えてください。

場面	時期	活動内容	児童生徒の反応	実施教科等
出会い 自己紹介	6月 ～ 9月	動画等により、パキスタンについて知り、相手校からの自己紹介動画を見た。こちらも自己紹介動画を撮りフォーラムにあげた。コロナ禍で十分な時間が取れなかった。	相手を知りたいという意欲はあるが、パキスタンという国に関する基本的な知識を持ち合わせていない生徒も多かった。自己紹介動画は、恥ずかしさからか、上手く撮れなかった。	HR1 総探1
共有 テーマ学習	10月	SDGsについて調べ、学習を進めた。ジェンダー平等、貧困問題など、多くの問題について検討した。ビデオ会議を実施して、相手校と話し合いを行おうとした。	SDGsについて知り、考えることは進められたが、それを校内及び相手校とすり合わせることはあまり上手くできなかった。全体でのビデオ会議は、通信や言葉の問題で難しかった。	総探4
融合 メッセージ作成	11月	気候変動について扱うという方針が決まり、具体的に論点整理をした。なぜ起こる・何が起こる・どう対策する、という3つの観点から分析し、実現したい未来の道筋が見えた。	それまでは、地球環境問題が存在することは知っていても、考えとしてまとまっていたはいなかった。それを体系的に分析することにより、生徒の考えが深まった。批判的な思考も出てきた。	総探4
創造 壁画制作	12月 1月	ビデオ会議で壁画の構図について話し合った後、生徒が原画を作成し、相手校と合意した。その原画をもとに、下書き・縁取りを経て、色塗りをし、壁画の半分を完成させた。	英語でのビデオ会議で海外の相手に自分の意思を伝えることは、担当した生徒にとって大きな自信になった。壁画制作については意欲的に取り組み、多くの生徒が達成感を得た。	課外10
評価 振り返り 自己評価	1月 2月	最後の総探の時間にこれまでの活動を振り返り、相手校に向けたメッセージを作成した。google classroomを活用し、ゼミ活動全般を評価した。	SDGs等に対し、調べ、分析し、思考する力がついたらと評価する生徒が多かった。一方、コミュニケーション力や表現力に課題を感じる生徒も多い。	総探1 HR1

■アートマイルでついた力について教えてください。

評価 (5:とてもついた 4:ついた 3:どちらともいえない 2:あまりつかなかった 1:つかなかった)

学習目標・つきたい力	評価	教師がそう感じた場面と理由
異文化・自文化を理解する力	2	「出会い」にあたる6月の時期に、本校で新型コロナウイルスのクラスターが発生し、学校閉鎖になってしまった。そのため、相手国及び自国の文化を調べ、考察する時間を十分に取れなかった。
批判的に思考する力 (客観的・論理的視点)	4	地球環境問題について生徒たちは熱心に調べた。その中で、それへの対策として、「いかに防ぐか」というだけではなく、「いかに変化に対応するか」という視点が出てきた。「水ATM」といった策も提示された。
主体的に考え行動する力	3	地球環境問題について調べる、相手の学校と英語でコミュニケーションをとる、あるいは制作活動に取り組むといったことは、興味がある生徒は主体的に取り組んだ。一方、生徒による意欲の差も大きかった。
多様な他者と対話・協働する力 (海外の相手と対話・協働)	3	相手校との英語でのコミュニケーションについては、語学力の向上が不可欠であり、課題が残った。一方、積極的に会話ができる生徒もいた。相手国の言語を交えたメッセージを送るといったことも行われた。
想いを言葉や形にする力 (メッセージ作成・壁画制作)	5	表現しようというメッセージが固まり、壁画を制作する段階になると、生徒たちは熱心に取り組んだ。美術の能力を十二分に発揮して絵を描き、高い完成度で、相手校からも絶賛を受けた。